

長浜原市営住宅10号棟屋上防水改修工事

図面番号	図 面 名 称
A-01	改修特記仕様書（1）
A-02	改修特記仕様書（2）
A-03	改修特記仕様書（3）
A-04	付近見取図・配置図兼仮設計画図
A-05	屋上平面図・防水改修詳細図
A-06	北・南立面図【参考図】
A-07	東・西立面図【参考図】

[illegible]

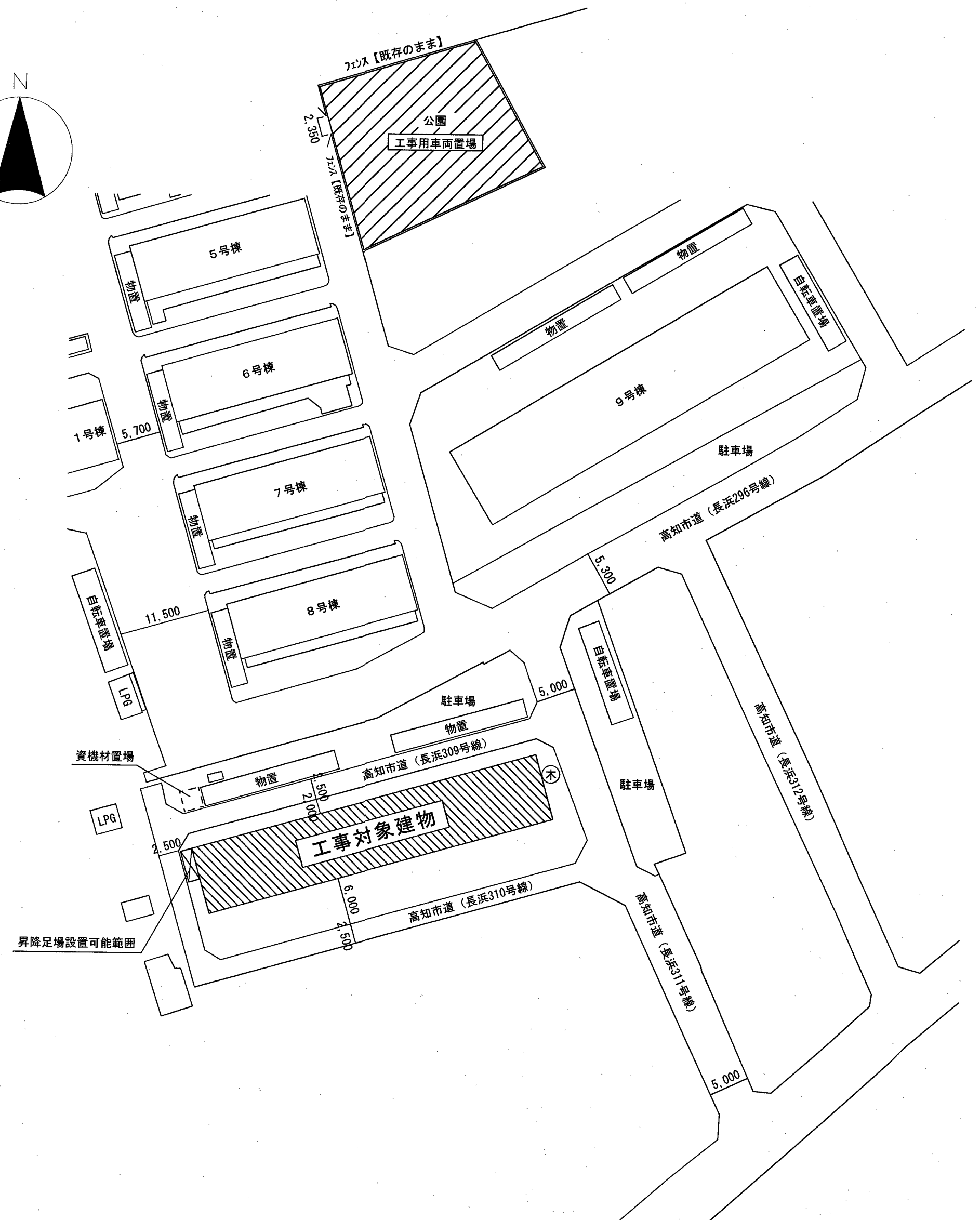
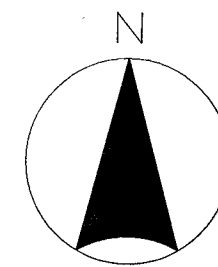
項目		特記事項		項目		特記事項																										
27	事業損失補償	※現場説明書による。		5	監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1]																										
28	完成時の提出図書	・完成図(作成範囲・配置図・平面図・立面図・断面図・仕上表) [1.9.1][1.9.2] ・完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等)・しない) [1.9.3] ・保全に関する資料(提出部数 ※2部・部) 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ○施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る著作権は、発注者に移譲するものとする。		6	工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない																										
29	完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 <table><tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原版の大きさ(mm)</th></tr><tr><td>・各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・100×125以上</td></tr><tr><td>・外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・24×36以上</td></tr><tr><td>・外部</td><td>半切バネ版(・木製枠※アルミ枠)</td><td>※1枚・枚</td><td>※1部・部</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>スライド</td><td></td><td>※1部・部</td><td></td></tr></table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等に提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度		位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上	・外部	半切バネ版(・木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部		・	スライド		※1部・部		7	仮囲い	※ 図示	
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)																												
・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上																												
・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上																												
・外部	半切バネ版(・木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部																													
・	スライド		※1部・部																													
30	別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 <table><tr><th>補強種別</th><th>内容</th></tr><tr><td rowspan="3">貫通孔、開口部の補強</td><td>梁</td></tr><tr><td>壁</td></tr><tr><td>スラブ</td></tr><tr><td>壁切込み及び補強</td><td></td></tr><tr><td>天井切込み及び補強</td><td></td></tr></table>		補強種別	内容	貫通孔、開口部の補強	梁	壁	スラブ	壁切込み及び補強		天井切込み及び補強		8	仮設物撤去後の整地・跡片付け	※ 図示																
補強種別	内容																															
貫通孔、開口部の補強	梁																															
	壁																															
	スラブ																															
壁切込み及び補強																																
天井切込み及び補強																																
31	撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。		防水改修工事																												
32	不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。		1		降雨等に対する養生方法	※3.1.3(5)による [3.1.3]																									
33	消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。		2		既存下地の処理	既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※ 図示 [3.2.6] 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※ 図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による																									
34	工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。		3		アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種類 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3～表3.3.6] <table><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材の厚さ</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr><tr><td>・P2A</td><td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">厚さ:・ mm ・ 図示</td><td>※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・フラットクロス (70g/㎡程度)</td><td>・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート 押え</td></tr><tr><td>・P1B</td><td>・B-1 ※B-2</td><td>・P2A1 ※A1-1 ※A1-2 ・A1-3</td><td>厚さ:・ mm ・ 図示</td><td>※フラットクロス (70g/㎡程度)</td><td></td></tr><tr><td>・P1B1</td><td>・B1-1 ※B1-2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※ 図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 乾式保護材 ・窯業系パネル (・I種 ※II種) ・金属複合板 [3.3.5] 製造所 評価名簿による 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 [表3.3.4][表3.3.5] ・適用する ・適用しない 平場の保護コンクリート [3.3.5] こて仕上げの場合 ※80mm以上 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平たんさ [3.3.5] [表8.1.5] ※a種 ・b種 ・c種 屋上排水溝 ・ 図示 [3.3.5]		工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3		厚さ:・ mm ・ 図示	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・フラットクロス (70g/㎡程度)	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート 押え	・P1B	・B-1 ※B-2	・P2A1 ※A1-1 ※A1-2 ・A1-3	厚さ:・ mm ・ 図示	※フラットクロス (70g/㎡程度)		・P1B1	・B1-1 ※B1-2				
工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護																											
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3		厚さ:・ mm ・ 図示	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・フラットクロス (70g/㎡程度)	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート 押え																											
・P1B	・B-1 ※B-2			・P2A1 ※A1-1 ※A1-2 ・A1-3	厚さ:・ mm ・ 図示	※フラットクロス (70g/㎡程度)																										
・P1B1	・B1-1 ※B1-2																															
仮設工事(改修)	1	足場その他	内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※ 図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ※ 図示 A種 ⊗ B種 ・C種 ・D種 ○E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※ 図示 ・) D種の場合 利用可能な階段(※ 図示 ・) ○屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ○高さ1.8m以下の範囲は金網とし、関係者以外が進入できないように施錠すること。	2	養生	○既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ○既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ・固定された備品等の移動 ※ 図示 ・開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。		3	仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※ 図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げる材種 ※せつこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※ 図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・ 図示		4	監督職員事務所	・設ける (㎡程度) ※設けない																		
				高知市 都市建設部 公共建築課		工事名																										
				長浜原市営住宅10号棟屋上防水改修工事		保 係 係長 課長補佐 課長 図面番号																										
				図面名 改修特記仕様書(2) 2024.04 縮尺 1/		作図 年 月 日																										
				A-02																												

項 目		特 記 事 項		項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項																																										
⑥	塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1～表3.6.3] <table><tr><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">高日射反 射率塗料 の適用</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr><tr><td>・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2</td><td rowspan="2">図示</td><td>※2成分形アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系</td><td>※製造 所の仕 様によ る</td><td rowspan="2">改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td></td><td></td><td>保護層 ・設ける ・設けない</td></tr></table> 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの [3.6.3]		種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反 射率塗料 の適用	備 考	種類	使用量	・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2	図示	※2成分形アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系	※製造 所の仕 様によ る	改修用ドレン ・設ける ・設けない			保護層 ・設ける ・設けない																														
	種別	施工箇所	仕上塗料			高日射反 射率塗料 の適用	備 考																																										
			種類	使用量																																													
	・X-1 ・X-1H ○X-2 ・X-2H ※Y-2	図示	※2成分形アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系	※製造 所の仕 様によ る	改修用ドレン ・設ける ・設けない																																												
				保護層 ・設ける ・設けない																																													
	7	FRP防水	ガラスマット ・1層タイプ ・2層タイプ 表面の仕上げ ・平滑 ・粗面 押え金物の材質 ※アルミニウム 押え金物の寸法 ※図示																																														
	⑧	シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4～3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・適用する [3.7.7] エッジング材張り ・適用する シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table><tr><th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・SR-1 ・SR-2</td><td>シリコン系</td><td></td></tr><tr><td>○MS-2</td><td>変成シリコン系</td><td>図示</td></tr><tr><td>・PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr><tr><td>・PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table><tr><th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr><tr><td>幅(mm)</td><td>※ 20以上</td><td>※幅及び深さ5以上[5.13</td><td>※ 10以上</td></tr><tr><td>深さ(mm)</td><td>※ 10以上</td><td>.3]による場合を除く)</td><td>※ 10以上</td></tr></table> 接着性試験 [3.7.8] ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 材料 [3.8.2][表3.8.1] <table><tr><th>材 種</th><th>寸 法</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td><td></td><td>※ たてどい</td></tr><tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾀｰVP)</td><td></td><td>※ たてどい</td></tr><tr><td>・ 硬質塩化ビニル雨どい</td><td></td><td>※ 軒どい ・ たてどい</td></tr></table> とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材種：※ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき その他：※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ [3.8.2] 既存のといその他の撤去 ※図示 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による ・図示 [3.8.3] 銅管製といの防露巻き ・表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・図示 ルーフドレンの取付け ・木はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。		種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所	・SR-1 ・SR-2	シリコン系		○MS-2	変成シリコン系	図示	・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系		・			箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※ 20以上	※幅及び深さ5以上[5.13	※ 10以上	深さ(mm)	※ 10以上	.3]による場合を除く)	※ 10以上	材 種	寸 法	施 工 箇 所	・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※ たてどい	・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾀｰVP)		※ たてどい	・ 硬質塩化ビニル雨どい		※ 軒どい ・ たてどい			
		種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所																																													
		・SR-1 ・SR-2	シリコン系																																														
		○MS-2	変成シリコン系	図示																																													
		・PS-2	ポリサルファイド系																																														
		・PU-2	ポリウレタン系																																														
・																																																	
箇所		打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																													
幅(mm)		※ 20以上	※幅及び深さ5以上[5.13	※ 10以上																																													
深さ(mm)		※ 10以上	.3]による場合を除く)	※ 10以上																																													
材 種	寸 法	施 工 箇 所																																															
・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※ たてどい																																															
・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾀｰVP)		※ たてどい																																															
・ 硬質塩化ビニル雨どい		※ 軒どい ・ たてどい																																															
10	アルミニウム製笠木	種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) [3.9.2][表3.9.1] ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 本体幅()mm 板厚(※2.0)mm 表面処理 種別 表5.2.2による()種 色合い等 ※標準色 既存の笠木等の撤去 ・行う(範囲 ※図示) ・行わない ・一時取外し再取付け[3.9.3] 新規アルミニウム製笠木の下地の補修工法 ※図示 板材折曲げ形笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の固定工法 建築基準法に基づく風圧力の(※1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法																																															
⑪	保証書 (シーリング除く)	受注者、施工者、材料製造所連名による 10 年保証(完成届提出日より15日後から)																																															
12	高日射反射率塗料塗り	JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料) に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。																																															

		高 知 市 都 市 建 設 部 公 共 建 築 課	工 事 名	長 浜 原 市 営 住 宅 10 号 棟 屋 上 防 水 改 修 工 事	係	係 長	課 長 補 佐	課 長	図 面 番 号
			図 面 名	改 修 特 記 仕 様 書 (3)	2024.04	縮 尺	1 /	作 図	年 月 日
					鈴 木	世 岡	濱 口	松 本	A-03



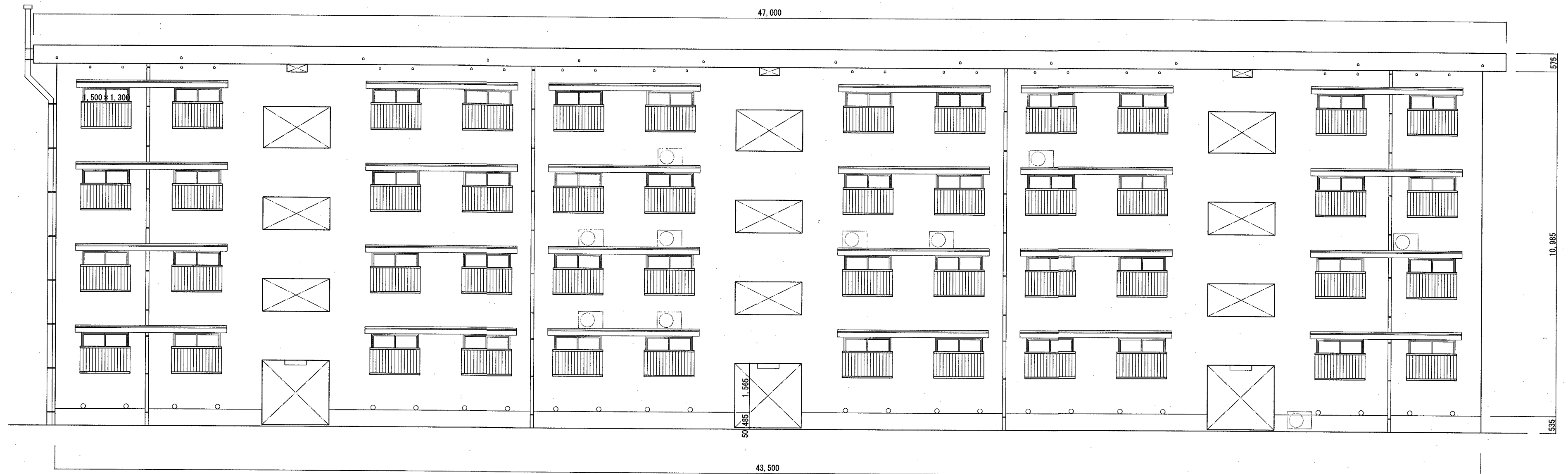
付近見取図



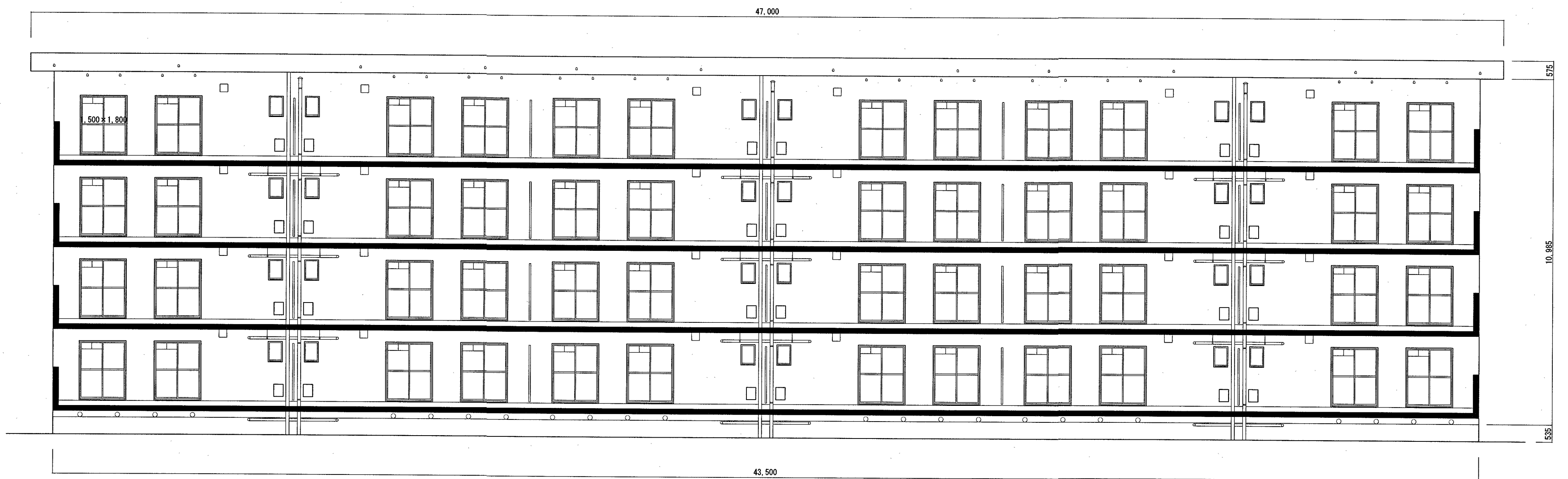
配置図兼仮設計画図

《凡例》---：資機材を置く場合は、周囲をガードフェンス(H=1,800)程度で囲うこと。

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				長浜原市営住宅10号棟屋上防水改修工事		鈴木	笹岡	濱口	松本	A-04
				図面名	付近見取図・配置図兼仮設計画図	縮尺	S=1/300	作図	年 月 日	



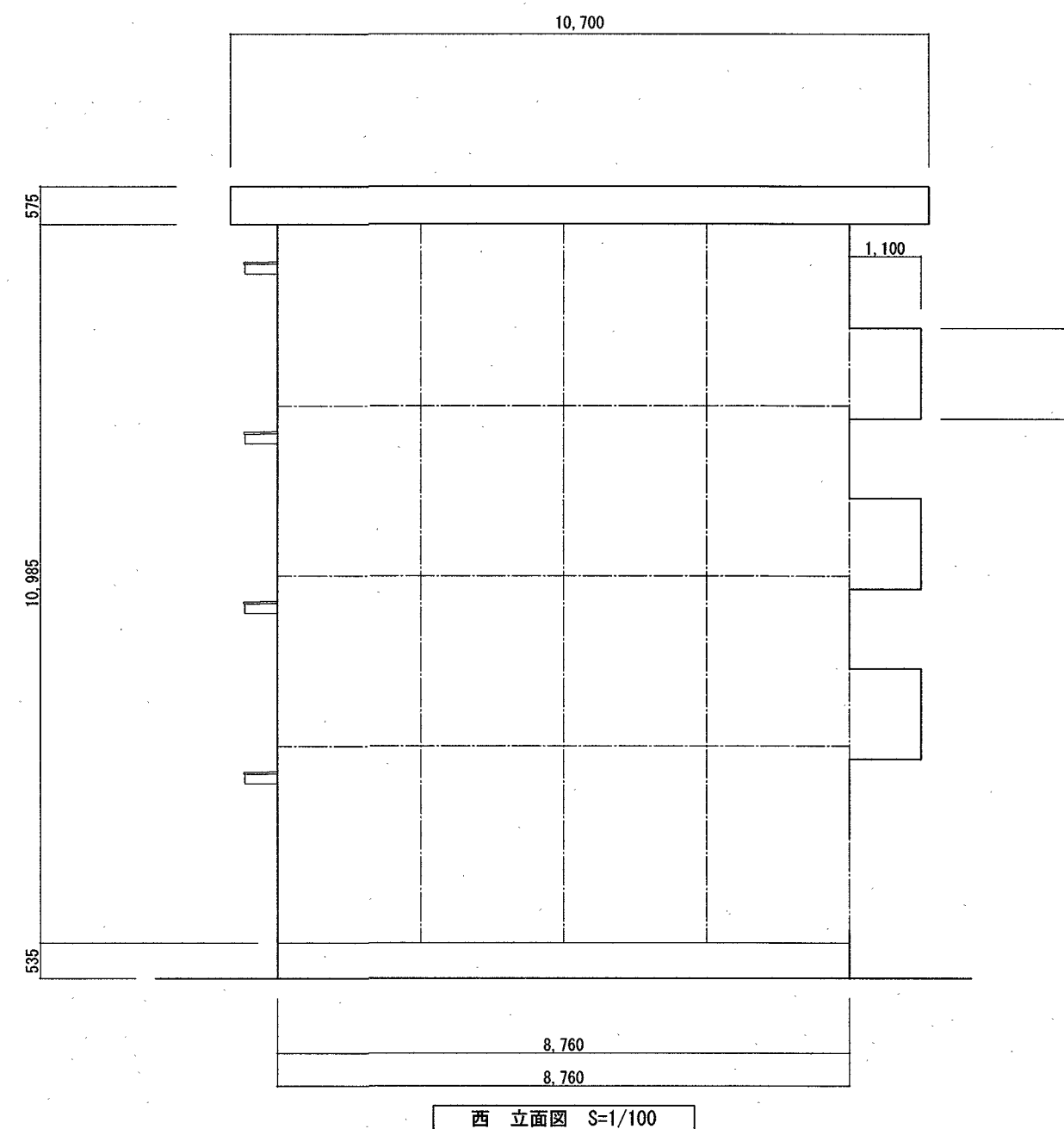
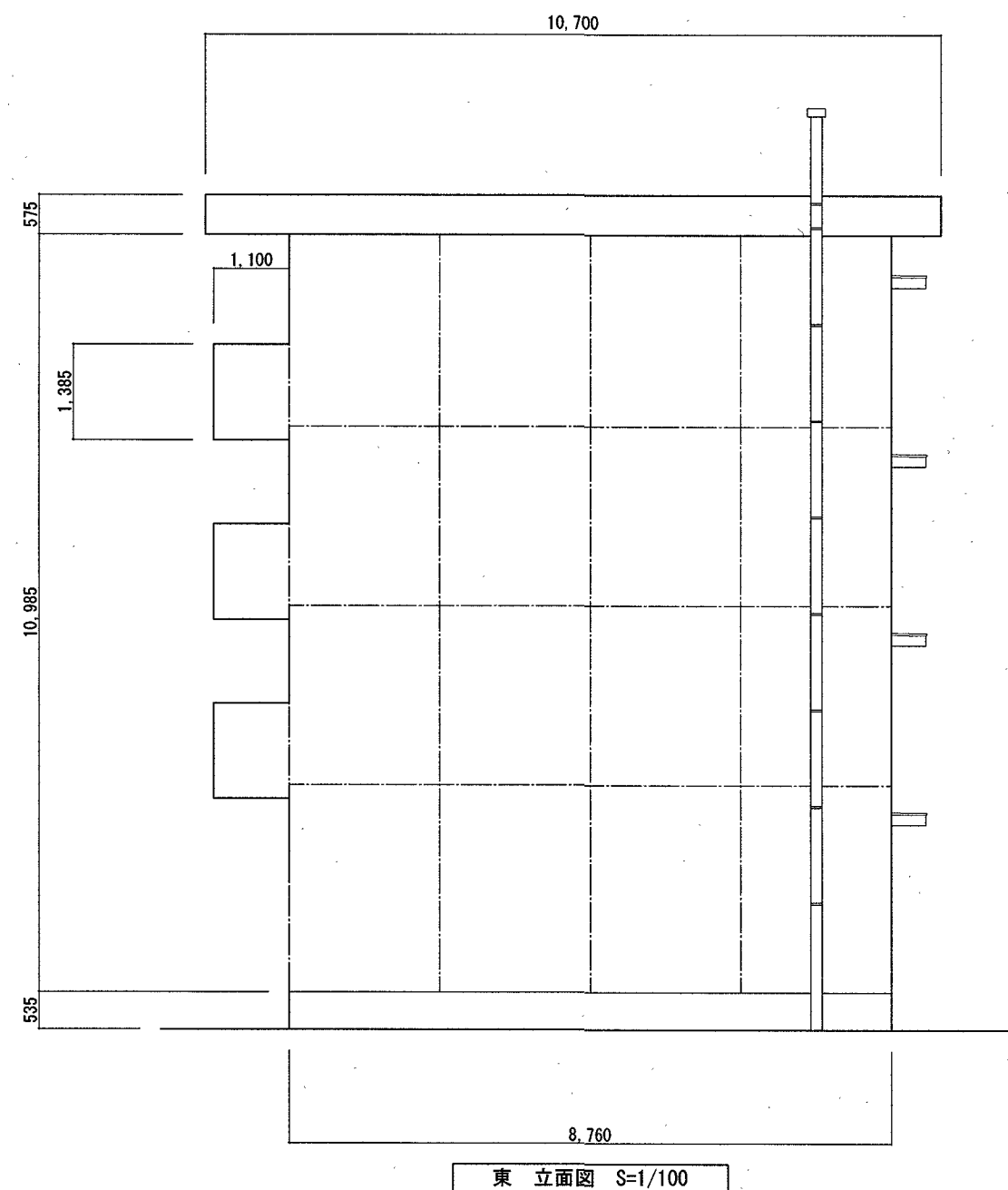
北 立面図 S=1/100



南 立面図 S=1/100

参考図

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				長浜原市営住宅10号棟屋上防水改修工事					A-06
				図面名	北・南立面図【参考図】	縮尺	S=1/100	作図	年 月 日



参考図

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
								長浜原市営住宅10号棟屋上防水改修工事								A-07
								図面名	東・西立面図【参考図】	縮尺	S=1/100	作図	年	月	日	